

花 中孝介

本調子

1/2

中	上	中	工	中	上	四	上	四	上	中	乙	老	四	四	五	工	中	工
もしもあな	たが	あめにぬれ	いいわけさえも	でき														

尺	中	上	四	上	合	中	上	中	五	工	中	上	四	四	上	中	乙	老
ないほどこに	なにかにふか	くきずついたなら	せめ															

四	四	五	工	合	尺	中	上	四	中	乙	老	四	四	五	工	中	工
てわたしは	てをむすび	かぜにほころぶ	はな														

尺	中	上	四	四	合	四	合	中	上	中	工	中	上	四	四	上
になりた	い	もしもあな	たのゆめやぶ													

中	乙	老	四	四	五	工	中	王	尺	中	上	四	上	合	中	上	中	五
れ	いきさきのない	ひびは	くれてゆき	しんじるこ														

工	中	上	四	四	上	中	乙	老	四	四	五	工	合	尺	中	上	四
と	さえできなくなれば	せめてわたし	が	こえにし													

中	乙	老	四	四	五	工	中	王	尺	中	上	四	四	合	四	合
て	あすにたゆたう	うたをうたお	う													

中	中	中	工	老	老	四	四	上	中	中	上	四	四	五	工	四	乙
は	なのよ	にはな	のよに	ただそこ	にさく	だけで											

四	四	上	中	上	中	中	工	老	四	四	七	七	合
うつくしくあ	れ	ひ	とはみ	なひと	はみな								

七	中	上	四	四	五	工	合	尺	中	上	四	中	乙	老	四	四	五
だい	ちをつよく	ふみしめて	それ	ぞれの	は												

工	四	王	尺	中	上	四	四	合	工	乙	老	四	〇	工	〇
な	こころにやどす	たとえこのみが													

尺	〇	中	〇	四	〇	工	中	王	尺	中	上	四	四	合
は	てるとも	そよぐしまかぜ	ねがいにそまれ											

花 中孝介

本調子

2/2

四 合

一、もしもあなたが 雨に濡れ
言い訳さえも できないほどに
何かに深く 傷付いたなら
せめて私は 手を結び
風に綻ぶ 花になりたい

もしもあなたの 夢破れ
行き先のない 日々は暮れゆき
信じることさえできなくなれば
せめて私が 声にして
明日に揺蕩う 歌をうたおう

花のように 花のように
ただそこに咲くだけで 美しくあれ
人はみな 人はみな
大地を強く踏みしめて それぞれの
花 心に宿す

例えこの身が 果てるとも
戦ぐ島風 願いに染まれ

花のように 花のように
ただ風に揺れるだけの この生命
人と人 また 人と人
紡ぐ時代に身をまかせ
それぞれの実が 撓わなればと

花のように 花のように
ただそこに咲くだけで 美しくあれ
人は今 人は今
大地を強く踏みしめて それぞれの
花 心に宿す